

# 2013 日本FID代表



## 候補合宿

期間・場所 : 5月3日~5月6日/茨城県つくば  
参加人数 : 23名(GK3名)

### JFFID代表候補 GK活動報告

報告者 柳澤 繁(東京都FID選抜)

#### 1 目的

- ・日本FID代表のスタンダードを知り、2014年ブラジル大会に向けて準備すること、すべきことを知る
- ・共通の高い意識を持った仲間づくり
- ・2014年ブラジル大会に向けた選手選考

#### 2 テーマ

- ・いつでもどこでも動き出せる構えの確認
- ・ゴールを守る(コーチング、強いメンタリティ)
- ・効果的な攻撃参加(ビルドアップ)

#### 3 成果と課題

##### ・加藤 隆生 秋田県

加藤は今回指を怪我した中での参加となった。そのためゴール前のトレーニングはあまりできなかった。その代わりにFPでのトレーニングが多く行った。

怪我を差し引いても本来のパフォーマンスにはほど遠い内容であった。怪我也あってもモチベーションも高くなく、チームの中でも存在感は感じられなかった。GKとしての基本技術、キックの精度は低くなく、技術面では可能性をもった選手であるがトレーニング不足を強く感じた。ゲーム中はまったく声を出さなかった。これまでの経験、技術面でもチームの柱となるべき選手である。まずは怪我をしっかりと治し、全力でプレーできるようになりトレーニングに励んでもらいたい。

##### ・内堀 嗣円 神奈川県

内堀は1泊2日と短い参加であったがトレーニング、ゲームともに存在感を見せた。内堀はJFFIDのU-18プロジェクトの経験、自チームでの活動がしっかりと積み上がっていると感じさせる選手である。

ビルドアップでは持ち前の強い肩を生かし、効果的なスローを幾度となく見せつけた。キックの質も良くなっているが、相手の状況を観て、蹴るのかつなぐのかの判断がまだ安定しない。コーチングも良くなっている。味方に関わりつつDFと一緒に守ろうという意識があったが、1試合を通してはまだできない。ポジショニングと



ともにこれからの課題として残った。加えてセットプレーでのカベの作り方は確認しなければならない。(枚数、基準など) GKとしての必要な知識は身につけていかなければならない。

・木野 友嘉 岐阜県

木野はGKとしての要素は低くないが、基本的な技術面(構え、キャッチング、キック)で確実性が物足りなく、グットフットボーラーとしての要素も磨きをかけていかなければならない。これからの課題として、細かい部分での技術面のさらなる向上と、それをゲームの中で効果的に発揮できるようになり、主導権を持ってプレーできるようになってもらいたい。



## 4 GK総括

本大会まで1年4か月となり、いよいよ本格的なチーム作りが始まる。今回でこれまでの把握している選手を選考した。次の合宿では今回の選考を顧慮しつつ、新しい選手を招集し再び選考することとなりそうだ。

これからの課題はゲームの中で効果的にテクニックを発揮し、GKが主導権を持ってプレーできるようになっていくことが必要になる。そしてよりサッカーの原理・原則を深めていくとともに、ゲームの中で失敗を恐れずにトライできる環境をわれわれ大人が作り上げていかなければならない。今回の合宿でスタンダードは伝えた。この意識を持ちかえり良い習慣を自ら整えてほしい。日々のちょっとした習慣のレベルアップが世界に挑む準備につながることを信じてトレイし続けてほしい。

